

6) Unemo M, Golparian D, Nicholas R, Ohnishi M, Galloway A, Sednaoui P. High-level cefixime- and ceftriaxone-resistant *N. gonorrhoeae* in Europe (France): novel *penA* mosaic allele in a successful international clone causes treatment failure. Antimicrob Agents Chemother (in press)

7) Goire N, Ohnishi M, Limnios A, Lahra M, Lambert S, Nimmo G, Nissen M, Sloots T, Whyley D. Enhanced gonococcal anti-microbial surveillance in the era of ceftriaxone resistance: a real-time PCR assay for direct detection of the *Neisseria gonorrhoeae* H041 strain. J. Antimicrobial Chemotherapy. (in press)

8) Golparian D, Eernandes P, Ohnishi M, Jensen J, Unemo M In vitro activity of the new fluoroketolide solithromycin (CEM-101) against a large collection of clinical *Neisseria gonorrhoeae* isolates and international reference strains including those with various high-level antimicrobial resistance - potential treatment option for gonorrhea? Antimicrob Agents Chemother (in press)

2. 学会発表

1) Ohnishi, M., Watanabe, Y., Shimuta, K. and Watanabe, H.: Horizontal transfer of *penA* allele between two different lineages of *Neisseria gonorrhoeae*.

18th International Society for STD research, London, 2009、7月

2) 大西 真、渡辺祐子、志牟田健、黒木俊郎、岡崎則男、渡邊治雄：染色体性セフェキシム耐性遺伝子*penA*遺伝子の淋菌株間での水平伝播、日本細菌学会関東支部総会、東京、2009 11月

3) 淋菌感染症と分子タイピング：大西 真、第5回 岐阜尿路・性器感染症研究会 岐阜、2010 10月

4) セフトリアキソン高度耐性株の出現とその分子機構：大西 真、第23回 日本性感染症学会 福岡、2010 12月

5) 簡易的な淋菌のスクリーニング系の検討：志牟田健、中山周一、飛田収一、伊東三喜雄、藤原光文、大前利一、石川和弘、上田朋宏、大西真、第23回 日本性感染症学会 福岡、2010 12月

セファロsporin耐性淋菌の出現とその分子機構：大西 真、京滋性感染症研究会 京都、2010 12月

6) 多剤耐性淋菌の出現とその広がり：大西 真、第21回感染研シンポジウム 東京 2011 5月

7) 京都府と大阪府における2010年-2011年に分離された淋菌株のMLST及びNG-MAST型別を用いた系統解析と淋菌株の薬剤耐性の傾向について：志牟田健 飛田収一 伊東三喜雄 藤原光文 石川和弘 上田朋宏 亀岡博 古林敬一 安本亮二 川畑 拓也 中

山周一 大西真、第24回 日本性感染症学会 東京 2011 12月

8) The New Superbug *Neisseria gonorrhoeae* Makes Gonorrhea Untreatable? First High-Level Ceftriaxone Resistance Worldwide and Public Health Importance.

Ohnishi M, Golparian D, Shimuta K, Saika T, Hoshina S, Iwasaku K, Nakayama S, Kitawaki J, Unemo M.

19th International Society for STD Research ケベック 2011年 7月

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

6. 性感染症患者の性意識ならびに性行動様式に関する研究

平成23年度厚生労働科学研究費補助金・新型インフルエンザ等新興・再興感染症事業「性感染症に関する予防、治療の体系化に関する研究」（主任研究者 小野寺昭一 慈恵医科大学客員教授）

(分担) 研究報告書

性感染症罹患者の性意識ならびに性行動様式に関する研究

研究分担者 北村 邦夫 社団法人日本家族計画協会 家族計画研究センター所長

研究要旨

平成24年1月19日に「性感染症に関する特定感染症予防指針」の一部が改訂された。この中には、「国は、性感染症を早期に発見し、治療に結び付けるための試行的研究、性感染症予防策のまん延防止効果に関する研究、感染リスクや感染の防止に関する意識・行動等を含む社会面と医学面における性の行動様式等に関する研究」の重要性が書かれている。本研究班「性感染症罹患者の性意識ならびに性行動様式に関する研究」は、この課題に答えるべく組織され、「日本人の性意識・性行動に関する調査」を実施することを通して、国民の性感染症に対する認識レベル、性感染症の早期発見・早期治療を可能にする背景因子とは何か、性感染症に罹患するリスクな性行動、コンドームの利用促進などを明らかにすることにより、性感染症予防教育の科学的かつ効果的な在り方を探ることを目的とした。

この目的を達成するために、研究班では、一般人口集団を想定したインターネット調査と、医療施設の受診者を対象とした調査を実施した。前者は15歳から69歳の男女8,700人（男性5,002人、女性3,698人）から、後者は研究分担者の組織する全国避妊教育ネットワーク会員などが所属する31施設から2,929人（女性2,824人、男性95人）から回答を得た。調査対象者が婦人科中心であったことから、インターネット調査との比較研究は「女性」に特化して集計・分析した。

結果、15歳から69歳の一般人口集団では、「異性とのセックス経験あり」は91.3%（男性91.4%、女性91.2%）、「決まった交際相手以外に、セックスする異性がいる」は18.0%（男性21.2%、女性13.6%）に、「これまでに同性とのセックス経験あり」は3.3%（男性4.0%、女性2.5%）に、「この一年間での口腔性交の経験あり」では「している（毎回＋時々＋ほとんどしていない）」が61.4%（男性64.6%、女性57.0%）、「口腔性交の際、性感染症を予防するためにコンドームを必ず使う」は5.3%（男性6.1%、女性4.2%）、「最初にセックスした年齢」は回答者全体の平均は20.5歳（男性20.7歳、女性20.1歳）などであった。いずれも、性感染症のリスクに影響を及ぼす可能性のある設問であり、年齢との関係などを分析することで興味深い結果となっている。医療機関調査も同様であるが、身近なところに医師あるいは看護職がいること、検査や治療が既に行われていること、費用についてもあらまし承知していることなどがあるからか、「性感染症の検査を受けることについての気持ち」を聞くと、インターネット調査の結果とは、性別、年齢階級別にみても統計的に有意な差を認める結果となった。これら2つの調査結果を詳細に分析することによって、性感染症の受診（早期検査・治療）に有効だと考えられる施策立案につなげたいと考えている。

研究協力者

- *赤崎 正佳（赤崎クリニック・奈良県）
- *秋元 義弘（岩手県立二戸病院・岩手県）
- *家坂 清子（医療法人清和会いえさか産婦人科医院・群馬県）
- *井上 聡子（さとこ女性クリニック・山形県）
- *植田 啓（ひまわりレディースクリニック・神奈川県）
- *大隈 良成（大隈レディースクリニック・佐賀県）

- *小栗 明子（明子ウェルネス・クリニック・愛知県）
- *尾上 泰彦（宮本町中央診療所・神奈川県）
- *片桐 清一（三戸中央病院・青森県）
- *金子 法子（針間産婦人科・山口県）
- *上村 茂仁（ウィメンズクリニック・かみむら・岡山県）
- ・川名 敬（東京大学医学部附属病院産婦人科・東京都）
- *河野 美代子（河野産婦人科クリニック・広島県）

＊北野原正高（きたのはら女性クリニック・宮城県）
 ・齋藤 泉（東京大学医学部附属病院産婦人科・東京都）
 ＊齋藤 洋子（アルファクリニック・愛知県）
 ＊桜井 秀（桜井産婦人科医院・福島県）
 ＊佐竹紳一郎（さたけ産婦人科・富山県）
 ＊貞永 明美（貞永産婦人科医院・大分県）
 ＊清水なほみ（ポートサイド女性総合クリニック～ビバリータ～・神奈川県）
 ＊杉村由香理（（社）日本家族計画協会クリニック・東京都）
 ・高橋 幸子（埼玉医科大学医学部産婦人科・埼玉県）
 ・谷口 武（谷口病院・大阪府）
 ＊塚田 訓子（アトラスレディースクリニック・東京都）
 ＊対馬ルリ子（ウィメンズ・ウエルネス 銀座クリニック東京都）
 ＊長岡 美樹（宮益坂メリーレディースクリニック・東京都）
 ＊南淵 芳（（医）萌寿会 林間クリニック・神奈川県）
 ＊丹羽 咲江（咲江レディースクリニック・愛知県）
 ＊野口まゆみ（西口クリニック婦人科・福島県）
 ＊蓮尾 豊（弘前女性クリニック・青森県）
 ＊八田真理子（ジュノ・ヴェスタ クリニック八田・千葉県）
 ・堀 成美（聖路加看護大学・東京都）
 ＊宮崎千恵子（宮崎クリニック・静岡県）
 ＊村上 雄太（池袋クリニック・東京都）
 ＊安日 泰子（やすひウイメンズクリニック・長崎県）
 ＊渡邊 智子（丸山産婦人科医院・長野県）

A. 研究目的

平成 24 年 1 月 19 日、厚生労働省告示第 19 号で明らかとなったように、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）、第 11 条第 1 項の規定に基づいて、性感染症に関する特定感染症予防指針（平成 12 年厚生省告示第 15 号）の一部が改正された。この中で、第 4 研究開発の推進の 4「社会面と医学面における性の行動様式等に関する研究」には、「国は、性感染症を早期に発見し、治療に結び付けるための試行的研究、性感染症予防策のまん延防止効果に関する研究、感染リスクや感染の防止に関する意識・行動等を含む社会面と医学面における性の行動様式等に関する研究を後天性免疫不全症候群

対策の研究と連携して進めることが重要である。」と書かれている。当該研究班はこの課題に答えるべく、「日本人の性意識・性行動に関する調査」と銘打った調査を通して、日本国民の性感染症に対する認識レベル、性感染症の早期発見・早期治療を可能にする背景因子、性感染症に罹患するリスクな性行動、コンドームの利用促進などを明らかにすることより、性感染症予防教育の科学的かつ効果的な在り方を探ることを目的とした。

この目的を達成するために、一般人口集団を想定したインターネット調査と、医療施設受診者を対象とした調査を実施した。前者の対象者には、性感染症に対する関心の高い人、低い人、医療機関で受診して検査・治療が完了している人、検査を受ける必要がないと決め込んでいる人など様々な背景を有する男女が存在することが想定され、まさにわが国の一般人口集団を代表する調査となっている。後者の調査は、研究分担者が組織している「避妊教育ネットワーク」の会員（婦人科医）と性感染症専門クリニック施設で実施した患者調査であり、性教育・避妊教育・性感染症予防教育などに格別熱心な医師がいることもあって、自ずと性感染症予防対策や検査・治療にも積極的な指導が行われていることが考えられる。

これら 2 つの調査結果をまとめるとともに、女性に特化して比較研究を試み興味深い結果を得た。

B. 研究方法

1. インターネット調査

(1) 調査対象：

母集団は満 15 歳から 69 歳男女。DIMS DRIVE* モニター（一部 10 代男女・60 代女性については提携モニターを使用）（表 1-1, 2, 3）

(*)DIMS DRIVE（ディムスドライブ）とは、インターワイヤード株式会社が 1998 年 10 月から提供しているネットリサーチサービスのこと。全国偏りの無い回答モニター 70 万人（提携モニター 50 万人を含む）を保有している。

(2) 調査期間：

平成 23 年 12 月 14 日（水）～12 月 22 日（木）。ただし一部 60 代女性については 12 月 26 日（月）～12 月 27 日（火）に追加実施した。

(3) 調査方法：

インターネットリサーチ（アンケート依頼メールを各回答者に配信し web 上で回答してもらった）

(4) 調査実施機関：

インターワイヤード株式会社 (DIMSDRIVE パネル)

(5)回収結果：

①調査配信数：187,617（うち提携パネル9人）

②回答数：8,987人（うち提携パネル511人）

③有効回答数：8,700人（うち提携パネル462人）

④無効回答数：287人

⑤回答率：4.6%（調査配信数に対して）

表 1-1. 年代(10 代刻み)

No.	カテゴリー名	DIMS 配信数	提携パネル配信数	合計配信数	有効回答数	有効回答率
1	10 代	1,600	4,800	6,400	272	4.3%
2	20 代	33,787	2,400	36,187	664	1.8%
3	30 代	73,436		73,436	1,958	2.7%
4	40 代	42,672		42,672	2,852	6.7%
5	50 代	19,975		19,975	1,908	9.6%
6	60 代以上	6,947	2,000	8,947	1,046	11.7%
	全体	178,417	9,200	187,617	8,700	4.6%

表 1-2. 年代 3(5 歳刻み)

No.	カテゴリー名	DIMS 配信数	提携パネル配信数	合計配信数	有効回答数	有効回答率
1	15-19 歳	1,600	4,800	6,400	272	4.3%
2	20-24 歳	8,391	2,400	10,791	273	2.5%
3	25-29 歳	25,396		25,396	391	1.5%
4	30-34 歳	42,468		42,468	756	1.8%
5	35-39 歳	30,968		30,968	1,202	3.9%
6	40-44 歳	24,417		24,417	1,456	6.0%
7	45-49 歳	18,255		18,255	1,396	7.6%
8	50-54 歳	12,604		12,604	1,144	9.1%
9	55-59 歳	7,371		7,371	764	10.4%
10	60-64 歳	4,998	1,000	5,998	703	11.7%
11	66-69 歳	1,949	1,000	2,949	343	11.6%
	全体	178,417	9,200	187,617	8,700	4.6%

表 1-3. 性別×年代

No.	カテゴリー名	DIMS 配信数	提携パネル配信数	合計配信数	有効回答数	有効回答率
1	男性-15-19 歳	890	2,400	3,290	120	3.6%
2	男性-20-24 歳	4,312	1,200	5,512	122	2.2%
3	男性-25-29 歳	11,709		11,709	129	1.1%
4	男性-30-34 歳	20,843		20,843	297	1.4%
5	男性-35-39 歳	14,001		14,001	531	3.8%
6	男性-40-44 歳	12,128		12,128	767	6.3%
7	男性-45-49 歳	10,265		10,265	868	8.5%
8	男性-50-54 歳	7,955		7,955	832	10.5%
9	男性-55-59 歳	4,862		4,862	570	11.7%
10	男性-60-64 歳	3,325		3,325	522	15.7%
11	男性-66-69 歳	1,394		1,394	244	17.5%
12	女性-15-19 歳	710	2,400	3,110	152	4.9%
13	女性-20-24 歳	4,079	1,200	5,279	151	2.9%

14	女性-25-29 歳	13,687		13,687	262	1.9%
15	女性-30-34 歳	21,625		21,625	459	2.1%
16	女性-35-39 歳	16,967		16,967	671	4.0%
17	女性-40-44 歳	12,289		12,289	689	5.6%
18	女性-45-49 歳	7,990		7,990	528	6.6%
19	女性-50-54 歳	4,649		4,649	312	6.7%
20	女性-55-59 歳	2,509		2,509	194	7.7%
21	女性-60-64 歳	1,673	1,000	2,673	181	6.8%
22	女性-66-69 歳	555	1,000	1,555	99	6.4%
	全体	178,417	9,200	187,617	8,700	4.6%

表 1-4. エリア(10 地域)

No.	カテゴリー名	DIMS 配信数	有効回答数	有効回答率
1	北海道	6,844	406	5.9%
2	東北	10,496	444	4.2%
3	甲信越	6,981	260	3.7%
4	関東	3,864	3,821	98.9%
5	東海	97,408	917	0.9%
6	北陸	14,505	138	1.0%
7	近畿	2,623	1,568	59.8%
8	中国	26,174	378	1.4%
9	四国	6,162	210	3.4%
10	九州・沖縄	3,360	558	16.6%
	全体		8,700	

2. 医療機関調査

(1) 調査対象と調査方法：

本研究班の研究協力者の所属する全国 31 施設（研究協力者名簿のうち＊が付記されている施設。研究分担者の施設を含む。）において、調査の目的、調査内容、拒否をした場合にも不利益を被ることがないこと、個人情報の保護、調査結果の利用方法などが書かれたリーフレットを配布（別添）し、口頭で同意が得られた 15 歳以上の患者に対して、「日本人の性意識・性行動に関する調査票」（別添）を手渡し調査の協力を求めた。

個人が特定されることがないように、記入が完了した際、回収用封筒に密封して受付に渡してもらった。なお、協力者には謝礼として 500 円相当のクオカードを贈呈した。

(2) 調査期間：

調査は、平成 24 年 1 月診療開始日から調査協力者が 100 人に達した段階で終了とした。

(3) 調査票の回収と集計：

本研究班の研究協力者の所属する施設において回収した調査票を、調査委託先である社団法人新情報センターに宅配してもらい、開封後集計した。その際、施設コードを明記しておき、全体集計だけでなく、施設別集計の結果を集計解析し協力施設に還元した。

(4) 回収結果：

調査実施医療機関から回収された調査票は 2,929 人（女性 2,824 人、男性 95 人、性別不明 10 人）であった。なお、医療機関での調査終了後は、回収用封筒に密封して受付に提出してもらい、それを開封することなく調査機関に郵送してもらうために性別にチェックがないあるいは性同一性障害などで回答に窮した事例が性別不明となったと思われる。

なお調査は、国内外の先行研究の成果を踏まえて作成された調査票を用いて、インターネット調査と医療機関調査とにもほぼ同様に実施した。

表 2-1. 女性の年齢階級別回収数(医療機関別)

	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	年齢不詳
全体	2,824	138	1,051	891	500	189	46	9
赤崎クリニック	94	2	26	48	11	7	0	0
岩手県立二戸病院 産婦人科	100	0	37	42	11	7	2	1
清和会いえさか産婦人科医院	100	2	64	18	12	4	0	0
さとこ女性クリニック	26	1	10	11	2	1	1	0
ひまわりレディースクリニック	97	2	32	21	30	12	0	0
大隈レディースクリニック	100	0	65	28	7	0	0	0
明子ウェルネス・クリニック	100	5	24	30	26	14	1	0
宮本町中央診療所	18	0	5	5	2	3	3	0
三戸中央病院	89	12	7	14	26	16	14	0
針間産婦人科	100	2	31	32	20	10	5	0
ウイメンズクリニック・かみむら	87	9	54	13	8	3	0	0
きたのはら女性クリニック	100	3	56	29	8	4	0	0
日本家族計画協会クリニック	96	22	39	26	7	1	0	1
河野産婦人科クリニック	95	9	28	22	26	5	4	1
アルファクリニック	100	3	18	25	34	16	3	1
桜井産婦人科医院	59	2	22	22	7	5	1	0
さたけ産婦人科	100	3	38	50	7	1	1	0
貞永産婦人科医院	68	3	17	27	16	5	0	0
ポートサイド女性総合クリニック	100	4	43	27	23	3	0	0
アトラスレディースクリニック	100	3	45	40	8	1	1	2
ウイミンズ・ウエルネス 銀座	99	0	12	42	27	17	1	0
宮益坂メリーレディースクリニック	98	7	51	24	14	2	0	0
(医)萌寿会 林間クリニック	99	4	36	26	27	5	1	0
咲江レディースクリニック	99	4	33	28	19	14	0	1
西口クリニック婦人科	100	10	27	18	30	13	2	0
弘前女性クリニック	100	7	38	39	14	1	0	1
ジュノ・ヴェスタ クリニック八田	100	2	22	31	29	15	1	0
宮崎クリニック	100	2	38	44	16	0	0	0
池袋クリニック	100	5	51	35	6	2	0	1
やすひウイメンズクリニック	98	9	50	27	9	0	3	0
丸山産婦人科医院	102	1	32	47	18	2	2	0

表 2-2 男性の年齢階級別回収数と性別不明数(医療機関別)

	男性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	年齢不詳	性別不明
全体	95	0	21	37	20	10	7	0	10
赤崎クリニック	6	0	3	3	0	0	0	0	0
岩手県立二戸病院 産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清和会いえさか産婦人科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
さとこ女性クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひまわりレディースクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大隈レディースクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明子ウェルネス・クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮本町中央診療所	82	0	13	33	19	10	7	0	0
三戸中央病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
針間産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイメンズクリニック・かみむら	0	0	0	0	0	0	0	0	0

きたのはら女性クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本家族計画協会クリニック	3	0	1	1	1	0	0	0	1
河野産婦人科クリニック	2	0	2	0	0	0	0	0	3
アルファクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桜井産婦人科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
さたけ産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貞永産婦人科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポートサイド女性総合クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトラスレディースクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイミズ・ウエルネス 銀座	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮益坂メリーレディースクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	2
(医)萌寿会 林間クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	1
咲江レディースクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西口クリニック婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弘前女性クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジュノ・ヴェスタ クリニック八田	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池袋クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
やすひウイメンズクリニック	2	0	2	0	0	0	0	0	0
丸山産婦人科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 2-3. 女性の年齢階級別回収数(地域別)

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	年齢不詳
全体	2,824	138	1051	891	500	189	46	9
青森県	189	19	45	53	40	17	14	1
岩手県	100	0	37	42	11	7	2	1
宮城県	100	3	56	29	8	4	0	0
山形県	26	1	10	11	2	1	1	0
福島県	159	12	49	40	37	18	3	0
群馬県	100	2	64	18	12	4	0	0
千葉県	100	2	22	31	29	15	1	0
東京都	493	37	198	167	62	23	2	4
神奈川県	314	10	116	79	82	23	4	0
静岡県	100	2	38	44	16	0	0	0
長野県	102	1	32	47	18	2	2	0
愛知県	299	12	75	83	79	44	4	2
富山県	100	3	38	50	7	1	1	0
奈良県	94	2	26	48	11	7	0	0
岡山県	87	9	54	13	8	3	0	0
広島県	95	9	28	22	26	5	4	1
山口県	100	2	31	32	20	10	5	0
大分県	68	3	17	27	16	5	0	0
佐賀県	100	0	65	28	7	0	0	0
長崎県	98	9	50	27	9	0	3	0

表 2-2 男性の年齢階級別回収数と性別不明数(地域別)

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	年齢不詳	性別不明
全体	95	0	21	37	20	10	7	0	10
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0

宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都	3	0	1	1	1	0	0	0	3
神奈川県	82	0	13	33	19	10	7	0	4
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	6	0	3	3	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	2	0	2	0	0	0	0	0	3
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	2	0	2	0	0	0	0	0	0

(倫理面への配慮)

本研究を実施するにあたっては、平成 23 年 10 月 21 日付け、日本性感染症学会倫理委員会の守殿貞夫委員長宛、研究計画書・調査票など指示された関係書類を添えて倫理審査を申請した。結果、11 月 30 日に「北村邦夫氏より当倫理委員会あてに 2011 年 10 月 21 日付け審査申請のあった研究（受付番号 11-02）につき審査した結果、「条件付承認」となり、その旨同年 11 月 24 日付け文書で通知した。その後、11 月 28 日付をもって、それら「条件」に対する修正申請書が当委員会に提出された。当委員会において再審査したところ、指摘事項は修正、加筆されていたので、本日付けをもって承認したことを通知する。」旨の委員長通知が届いた。

すべての研究は、疫学研究に関する倫理指針、臨床研究に関する倫理指針、個人情報保護法などを踏まえて、日本性感染症学会の倫理委員会からの指摘を踏まえて実施したものである。

C. 研究結果

1. インターネット調査の結果

(1)回答者の属性

1)性別と年齢

回答者 8,700 人の性別内訳は男性 5,002 人 (57.5%)、女性 3,698 人 (42.5%)。回答者の平均年齢は全体では 44.4 歳で、男性 47.0 歳、女性 41.0 歳であった。これを反映して、10 歳階級で見ると、最多は 40 代で 32.8% (男性 32.7%、女性 32.9%) となっている。

回答者の性別と年齢分布

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代
全体	8,700	272	664	1,958	2,852	1,908	1,046
	100%	3.1	7.6	22.5	32.8	21.9	12.0
男性	5,002	120	251	828	1,635	1,402	766
	100%	2.4	5.0	16.6	32.7	28.0	15.3
女性	3,698	152	413	1,130	1,217	506	280
	100%	4.1	11.2	30.6	32.9	13.7	7.6

回答者の年齢 総数44.4歳 男性47.0歳 女性41.0歳

2)同居者

配偶者（妻・夫、パートナー）と同居している回答者が最多で 62.8%（男性 61.4%、女性 64.7%）。子（子の配偶者を含む）44.8%（男性 43.3%、女性 43.8%）。

現在、誰と住んでいるか（複数回答）

	合計	一人暮らし （一緒に住 んでいる人 は少ない）	配偶者 （妻、夫、 パートナー）	親（配 偶者の 親も含む）	子（子 の配偶 者も含む）	祖父母 （配偶者 の祖父母 も含む）	孫	兄弟 姉妹	親戚	恋人 友人	ルーム メイト、 それ以 外の人
全体	8,700	15.2	62.8	27.4	44.8	2.1	0.8	8.2	0.3	0.6	0.1
男性	5,002	18.1	61.4	28.5	43.3	1.7	0.8	7.3	0.2	0.2	0.0
10代	272	21.7	0.0	78.3	2.6	12.5	0.0	60.8	0.0	0.0	0.0
20代	664	35.1	10.0	54.2	6.0	10.4	0.0	31.9	0.0	0.8	0.0
30代	1,958	20.5	46.5	36.0	31.5	3.4	0.0	11.5	0.5	0.2	0.0
40代	1,635	18.9	61.5	27.3	48.4	0.8	0.1	4.6	0.2	0.2	0.1
50代	1,402	14.8	74.1	24.9	56.4	0.1	0.9	2.3	0.1	0.4	0.0
60代	766	13.6	80.4	13.4	39.9	0.4	3.5	1.0	0.3	0.0	0.0
女性	3,698	11.3	64.7	25.9	46.8	2.6	0.7	9.5	0.5	1.1	0.2
10代	152	14.5	2.6	80.3	2.6	15.1	0.7	60.5	0.7	0.7	1.3
20代	413	20.1	31.7	45.5	20.3	8.0	0.0	28.3	0.7	4.8	0.2
30代	1,130	10.3	69.1	22.5	48.5	2.2	0.1	7.6	0.4	1.3	0.2
40代	1,217	9.7	70.9	22.7	57.1	1.0	0.2	3.5	0.7	0.4	0.2
50代	506	9.3	79.2	18.2	54.0	0.4	1.2	2.2	0.2	0.2	0.0
60代	280	11.1	75.7	8.9	44.6	0.0	6.1	1.1	0.4	0.0	0.0

3)結婚の有無

「現在結婚しているか」を尋ねると、婚姻関係にある者(初婚・再婚)は63.6%(男性62.1%、女性64.9%)、婚姻関係にない者(未婚・離婚・死別)は46.4%(男性37.9%、女性35.1%)であった。年齢に相関して若年層では「未婚」群が、高齢になるほどに「離婚」「死別」が増加している。

現在、結婚しているか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	未婚	初婚	再婚	離婚	死別
全体	8,700	29.1	58.7	4.9	6.3	1.0
男性	5,002	30.5	57.9	4.7	5.9	1.0
10代	120	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	251	90.0	9.2	0.0	0.8	0.0
30代	828	50.6	44.4	2.2	2.7	0.1
40代	1,635	30.3	58.3	4.8	5.9	0.7
50代	1,402	15.2	68.5	7.4	7.6	1.2
60代	766	6.8	77.0	4.7	9.0	2.5
女性	3,698	27.2	59.8	5.1	6.7	1.2
10代	152	98.0	2.0	0.0	0.0	0.0
20代	413	67.8	30.3	0.2	1.7	0.0
30代	1,130	26.5	64.8	4.2	4.5	0.1
40代	1,217	18.2	63.8	8.0	9.3	0.7
50代	506	8.7	73.3	6.5	9.5	2.0
60代	280	5.0	72.1	3.9	10.7	8.2

4)学歴

最後に卒業した学校。中退・在学中は卒業として回答してもらった結果、男性では「大学」が52.9%、女性で「高等学校」が女性32.0%で最も多かった。若年ほど高学歴化が目立っている。

最後に卒業された学校は？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	中学校	高等学校	専門学校	短期大学	大学	大学院	答えない
全体	8,700	2.2	27.3	12.5	9.5	42.9	5.0	0.6
男性	5,002	2.1	23.8	11.0	2.5	52.9	7.3	0.6
10代	120	15.8	58.3	5.0	0.8	20.0	0.0	0.0
20代	251	0.8	22.7	9.6	1.6	55.8	8.4	1.2
30代	828	2.8	19.9	15.8	2.4	46.7	12.0	0.4
40代	1,635	2.0	23.3	13.3	2.7	50.9	7.2	0.6
50代	1,402	0.6	20.4	8.8	2.7	60.9	6.1	0.4
60代	766	2.6	30.0	6.1	2.1	53.1	5.1	0.9
女性	3,698	2.2	32.0	14.6	19.1	29.4	2.0	0.6
10代	152	18.4	59.2	2.6	0.7	19.1	0.0	0.0
20代	413	3.4	24.2	14.3	10.7	43.6	2.9	1.0
30代	1,130	1.2	26.0	16.1	20.1	33.0	2.7	1.0
40代	1,217	0.8	34.0	16.8	21.4	24.5	1.8	0.7
50代	506	1.0	29.6	14.0	25.3	28.3	1.8	0.0
60代	280	4.6	48.6	6.8	16.4	22.9	0.7	0.0

5)職業

男性では勤め人(常勤)が62.3%、女性では主婦が37.9%と最多。

主な職業は？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	勤め人(常勤)	勤め人(非常勤・パート・タイム・アルバイトなど)	自営業(事業の経営者・家業の手伝い・内職など)	学生	主婦(主夫)	無職
全体	8,700	46.0	12.9	11.1	4.6	16.2	9.1
男性	5,002	62.3	6.6	16.4	3.8	0.2	11.7
10代	120	0.0	0.8	0.0	98.7	0.0	2.5
20代	251	40.2	17.5	3.2	27.5	0.4	11.2
30代	828	74.3	7.1	7.7	0.6	0.2	10.0
40代	1,635	74.4	4.5	15.5	0.0	0.1	5.4
50代	1,402	68.9	4.1	19.5	0.1	0.4	7.1
60代	766	28.5	12.0	22.3	0.1	0.3	36.8
女性	3,698	24.0	21.5	5.3	5.5	37.9	5.7
10代	152	1.3	2.6	0.7	90.8	2.0	2.6
20代	413	32.7	20.6	2.4	14.3	18.9	11.1
30代	1,130	31.9	21.4	3.7	0.2	38.8	3.9
40代	1,217	23.2	23.2	6.9	0.4	40.4	5.9
50代	506	17.4	27.3	8.3	0.0	43.1	4.0
60代	280	7.5	16.1	6.1	0.0	61.4	8.9

6)自分のことが好きか？

「好き(好き+まあ好き)」が71.6%(男性73.4%、女性69.3%)、「好きでない(あまり好きでない+好きでない)」は28.4%(男性26.6%、女性30.7%)で、「好き」の割合は男性の方が多かった。

自分のことが好きか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない
全体	8,700	18.0	53.6	22.7	5.7
男性	5,002	19.3	54.1	21.4	5.2
10代	120	10.8	43.3	38.3	7.5
20代	251	17.5	37.8	31.1	13.5
30代	828	17.1	46.1	26.7	10.0
40代	1,635	17.2	54.6	22.6	5.5
50代	1,402	20.8	58.6	18.3	2.4
60代	766	25.1	60.7	12.7	1.6
女性	3,698	16.4	52.9	24.4	6.3
10代	152	8.6	41.4	36.2	13.8
20代	413	14.5	44.1	30.0	11.4
30代	1,130	14.2	52.3	26.2	7.3
40代	1,217	16.5	52.3	25.5	5.7
50代	506	20.9	58.5	17.6	3.0
60代	280	23.2	66.4	10.4	0.0

(2)20歳以上の回答者の生活習慣

1)喫煙

習慣的にタバコを吸うとは「今までに合計100本以上または6か月以上吸っている人」のうち「最近1か月も吸っている人」と定義して聞いた。結果、「もともと吸わない(吸ったことがない)」は45.8%(男性33.5%、女性62.7%)、現在も「習慣的に吸っている」は24.5%(男性30.9%、女性15.6%)。習慣的に吸っている割合は男性に多く、特に30代から50代で目立つ。「もともと吸わない(吸ったことがない)」割合は、男性では年齢が若いほど高いが、女性では全年齢層で同程度の割合であった。

現在、タバコを習慣的に吸っているか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

(習慣的にタバコを吸うとは「今までに合計100本以上または6ヶ月以上吸っている人」のうち「最近1ヶ月も吸っている人」のこと)

	合計	もともと吸わない(吸ったことがない)	吸ったことはある(吸っている)が習慣的ではない	過去に習慣的に吸っていた(現在は吸っていない)	習慣的に吸っている
全体	8,428	45.8	5.4	24.4	24.5
男性	4,882	33.5	5.1	30.5	30.9
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	251	68.1	6.4	9.6	15.9
30代	828	47.9	5.7	15.9	30.4
40代	1,635	34.4	5.6	26.4	33.6
50代	1,402	23.6	4.6	37.7	34.1
60代	766	22.6	4.3	48.6	24.5
女性	3,546	62.7	5.8	15.9	15.6
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	413	73.1	5.8	10.9	10.2
30代	1,130	59.2	6.8	17.9	16.1
40代	1,217	60.2	5.6	16.7	17.5
50代	506	63.0	4.5	16.0	16.4
60代	280	71.8	4.3	11.8	12.1

2)飲酒

日本酒1合とは：ビール中瓶1本、焼酎35度1杯、ウイスキーダブル1杯、ワイン2杯と定義した上で、飲酒状況を聞いた。「飲まない」は33.1%(男性24.8%、女性44.5%)。「3合以上」

も 19.1% (男性 25.8%、女性 9.9%) いた。タバコ同様、「飲まない」割合は男性では若年ほど多く、女性では全年齢層で 4 割を超えていた。

1 週間のうち、平均どの程度酒を飲むか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

(日本酒 1 合とは：ビール中瓶 1 本、焼酎 35 度 1 杯、ウイスキーダブル 1 杯、ワイン 2 杯)

	合計	飲まない	1 合未満	1～2 合未満	2～3 合未満	3 合以上
全体	8,428	33.1	26.1	13.2	8.5	19.1
男性	4,882	24.8	23.6	15.1	10.7	25.8
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	251	35.8	41.8	10.8	6.0	6.0
30代	828	31.3	28.7	14.5	7.4	18.1
40代	1,635	24.0	23.9	14.2	10.3	27.6
50代	1,402	20.8	18.5	17.2	13.7	29.7
60代	766	23.1	20.9	15.4	10.8	29.8
女性	3,546	44.5	29.6	10.5	5.6	9.9
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	413	48.2	34.9	9.0	3.9	4.1
30代	1,130	45.8	28.4	10.7	6.4	8.7
40代	1,217	42.7	29.0	10.8	5.4	12.1
50代	506	42.3	29.6	11.3	5.3	11.5
60代	280	45.4	28.6	9.6	5.7	10.7

(3) 回答者の性意識・性行動

1) セックスに対する関心

「現在、セックス(性交渉)することに、関心があるか？」に対して。「関心がある(とても関心がある+ある程度関心がある)」は 69.1% (男性 83.8%、女性 49.2%)、「関心がない(あまり関心がない+まったく関心がない)」は 29.0% (男性 15.7%、女性 47.2%) と、セックスに対しては男性の関心が高い。その一方で、男性の 10 代では「関心がない」が 26.7% と高いだけでなく、「嫌悪している」も 5.8% となっており、若い男性のセックス離れを感じさせる結果となっている。

現在、セックス(性交渉)をすることに、関心があるか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	嫌悪している
全体	8,700	24.1	45.0	22.9	6.1	1.9
男性	5,002	35.5	48.3	13.8	1.9	0.5
10代	120	29.2	38.3	19.2	7.5	5.8
20代	251	34.7	46.2	15.9	2.4	0.8
30代	828	46.3	41.9	9.5	1.4	0.8
40代	1,635	41.2	44.8	12.0	1.3	0.6
50代	1,402	28.1	54.7	15.6	1.6	0.0
60代	766	26.4	53.3	17.1	3.3	0.0
女性	3,698	8.7	40.5	35.3	11.9	3.7
10代	152	9.2	53.3	28.3	5.3	3.9
20代	413	18.4	49.4	24.2	4.4	3.6
30代	1,130	12.6	47.8	29.7	5.8	4.2
40代	1,217	5.8	38.5	40.1	11.6	4.0
50代	506	2.6	28.7	43.3	23.1	2.4
60代	280	1.4	21.4	42.5	32.1	2.5

2) 異性とのセックス経験

「これまでに異性とセックス(性交渉)したことがあるか」を尋ねると、回答者全体の 91.3% (男性 91.4%、女性 91.2%) が「ある」と回答するも、男性の 20 代では 39.4% (女性 24.5%)、30 代でも 12.4% (女性 4.2%) が未経験者であった。セックスに対する関心の低下と合わせて、性交開始年齢が遅くなっている感を否めない。

これまでに異性とセックス(性交渉)したことがあるか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	ある	ない
全体	8,700	91.3	8.7
男性	5,002	91.4	8.6
10代	120	19.2	80.8
20代	251	60.6	39.4
30代	828	87.6	12.4
40代	1,635	94.5	5.5
50代	1,402	98.0	2.0
60代	766	98.2	1.8
女性	3,698	91.2	8.8
10代	152	26.3	73.7
20代	413	75.5	24.5
30代	1,130	95.8	4.2
40代	1,217	95.6	4.4
50代	506	98.0	2.0
60代	280	98.6	1.4

3) セックス相手の数

セックス経験のある回答者に、「今までに、

今までに、何人の異性とセックス(性交渉)したか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	1人	2人	3人	4人	5～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上
全体	7,942	17.7	11.3	12.3	8.0	25.8	14.5	6.6	2.1	1.8
男性	4,571	12.5	9.8	11.8	7.2	27.5	17.1	8.6	3.0	2.6
10代	23	43.5	30.4	8.7	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3
20代	152	16.4	19.1	17.1	10.5	21.1	11.2	2.0	1.3	1.3
30代	725	13.0	10.2	13.2	7.2	26.5	17.5	8.4	1.9	2.1
40代	1,545	10.5	9.5	10.6	7.4	27.8	18.3	10.0	3.4	2.7
50代	1,374	11.9	8.8	10.8	6.1	28.9	17.9	8.9	3.6	3.1
60代	752	15.4	9.0	14.1	8.0	27.1	14.8	7.0	2.3	2.3
女性	3,371	24.7	13.4	12.9	9.1	23.6	10.9	4.0	0.8	0.7
10代	40	45.0	17.5	22.5	5.0	2.5	2.5	2.5	2.5	0.0
20代	312	28.2	12.2	9.6	10.9	22.4	10.9	3.8	1.0	1.0
30代	1,083	15.0	11.5	14.6	8.5	27.6	15.1	5.7	1.1	0.8
40代	1,164	20.6	13.2	12.2	10.3	27.1	11.0	4.0	0.9	0.8
50代	496	35.9	16.3	12.1	9.1	17.7	6.0	2.4	0.2	0.2
60代	276	53.3	16.7	13.0	5.4	7.6	3.3	0.4	0.4	0.0

何人の異性とセックス(性交渉)したか？」と尋ねると、男性回答者の経験割合がもっとも多いのが「5～9人」27.5% (女性 23.6%)、女性では 1 人が 17.7% (男性 12.5%) であった。「100 人以上」が男性の 10 代でも 4.3% おり、性行動の 2 極化が確実に起こっているのではないかな。

4) 決まった交際相手以外に、セックスする異性がいるか？

「決まった交際相手(配偶者を含む)以外に、セックス(性交渉)する異性がいるか？」の質問には、「そのような人はいない」が 82.0% (男性 78.8%、女性 86.4%) で、「いる」は男性で 21.2%、女性で 13.6% であった。

決まった交際相手(配偶者を含む)以外に、セックス(性交渉)する異性がいるか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上	そのような人はいない
全体	7,942	13.0	2.6	1.2	0.3	0.5	0.4	82.0
男性	4,571	14.5	3.3	1.6	0.4	0.8	0.6	78.8
10代	23	17.4	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3	65.2
20代	152	15.1	2.0	2.0	2.0	1.3	0.0	77.6
30代	725	10.9	3.2	2.6	0.4	1.5	0.8	80.6
40代	1,545	14.6	3.1	1.9	0.3	0.6	0.6	78.8
50代	1,374	15.3	3.5	1.0	0.4	0.7	0.6	78.5
60代	752	15.8	4.0	0.8	0.3	0.5	0.7	77.9
女性	3,371	10.9	1.5	0.6	0.1	0.2	0.1	86.4
10代	40	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	87.5
20代	312	9.9	1.0	1.0	0.0	1.0	0.3	86.9
30代	1,083	11.4	1.8	1.0	0.3	0.1	0.1	85.3
40代	1,164	10.7	1.5	0.3	0.2	0.3	0.2	88.9
50代	496	10.9	1.4	0.4	0.0	0.2	0.0	87.1
60代	276	10.9	1.4	0.7	0.0	0.0	0.0	87.0

5) この1ヶ月間の異性とのセックス回数
「この1ヶ月間の異性とのセックス(性交渉)の回数」を尋ねると、いわゆるセックスレス(特別な事情がないにもかかわらずカップルの合意したセックスが一ヶ月以上ない)が、59.1%(男性 58.6%、女性 59.8%)。この割合は年齢が上がるにつれて上昇している。

この1ヶ月間の、異性とのセックス(性交渉)の回数は？
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	1回	2回	3回	4回	5～9回	10～19回	20～49回	50回以上	この1ヵ月間は、セックス(性交渉)をしなかった
全体	7,942	12.8	9.6	5.9	5.2	4.9	2.0	0.4	0.1	59.1
男性	4,571	13.0	9.7	5.6	5.5	4.9	2.0	0.5	0.2	58.6
10代	23	17.4	21.7	8.7	0.0	13.0	8.7	4.3	4.3	21.7
20代	152	12.5	7.9	7.9	5.3	9.2	6.6	1.3	0.7	48.7
30代	725	14.9	11.7	6.2	6.1	5.4	3.2	0.1	0.4	52.0
40代	1,545	13.9	9.6	6.0	5.8	5.6	1.7	0.6	0.2	56.4
50代	1,374	12.8	8.8	5.5	5.6	4.0	2.1	0.4	0.2	60.5
60代	752	9.4	9.4	4.0	4.1	3.2	0.3	0.5	0.0	69.0
女性	3,371	12.6	9.6	6.2	4.7	4.9	1.8	0.3	0.0	59.8
10代	40	20.0	10.0	5.0	10.0	5.0	0.0	2.5	0.0	47.5
20代	312	16.3	11.5	11.5	8.7	8.0	4.2	0.6	0.0	39.1
30代	1,083	13.7	11.4	9.0	5.7	6.8	2.4	0.3	0.0	50.8
40代	1,164	12.4	9.7	3.9	4.0	4.0	1.6	0.2	0.0	64.3
50代	496	11.3	7.3	4.4	2.0	3.4	0.6	0.4	0.0	70.6
60代	276	6.5	4.0	2.5	3.6	0.7	0.4	0.0	0.0	82.2

6) 現在もっともよく使っている避妊法
「現在、もっともよく使っている避妊法」は、「避妊する必要がない」35.4%(男性 32.0%、女性 40.0%)を含めて、「コンドーム」がもっとも多く50.0%(男性 54.4%、女性 43.9%)、ついで「膣外射精(精液を外に出すこと)」11.4%(男性 11.4%、女性 11.3%)であり、男性主導の避妊法が依然として大半を占めている。経口避妊薬は女性の2.8%に過ぎない。

現在、もっともよく使っている避妊法は？
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	コンドーム	経口避妊薬(ピル・飲む避妊薬)	オギノ式避妊法(月経から避妊薬をはかる)	基礎体温法(基礎体温をはかる)	膣外射精法(精液を外に出すこと)	洗浄法	その他	避妊する必要がない
全体	7,942	50.0	1.6	0.7	0.4	11.4	0.1	0.5	35.4
男性	4,571	54.4	0.9	0.6	0.2	11.4	0.0	0.4	32.0
10代	23	87.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
20代	152	80.3	0.0	0.7	0.7	3.9	0.0	0.7	13.8
30代	725	67.3	1.0	0.4	0.1	9.8	0.0	0.4	21.0
40代	1,545	62.8	1.2	0.5	0.1	14.1	0.0	0.3	21.0
50代	1,374	47.4	0.7	0.9	0.1	12.7	0.1	0.6	37.6
60代	752	31.3	0.7	0.5	0.3	6.9	0.0	0.5	59.8
女性	3,371	43.9	2.6	0.9	0.6	11.3	0.1	0.6	40.0
10代	40	82.5	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	10.0
20代	312	65.4	6.1	0.0	0.3	11.9	0.6	0.6	15.1
30代	1,083	52.0	4.0	1.1	0.7	13.5	0.0	0.5	28.3
40代	1,164	46.0	1.8	1.4	0.9	14.3	0.0	0.7	35.1
50代	496	24.8	0.6	0.2	0.4	5.8	0.2	0.6	67.3
60代	276	8.3	0.0	0.4	0.0	0.4	0.4	0.7	89.9

7) 同性とのセックス経験
「これまでに同性とセックスしたことがあるか」には、回答者全体の3.3%が「ある」と回答。男性では4.0%(2.5%～4.6%)、女性では2.5%(1.8%～3.0%)である。

8) 過去に同性とセックスした相手の人数
同性のセックス経験のある男女のうち、「1人」がもっとも多く、回答者全体の37.9%(男

これまでに同性とセックス(性交渉)したことがあるか？
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	ある	ない
全体	8,700	3.3	96.7
男性	5,002	4.0	96.0
10代	120	2.5	97.5
20代	251	3.2	96.8
30代	828	3.6	96.4
40代	1,635	4.6	95.4
50代	1,402	3.8	96.2
60代	766	3.8	96.2
女性	3,698	2.5	97.5
10代	152	2.0	98.0
20代	413	2.7	97.3
30代	1,130	2.1	97.9
40代	1,217	3.0	97.0
50代	506	1.8	98.2
60代	280	2.5	97.5

性31.2%、女性52.7%)。50代、60代の男性では100人以上の経験者が10%を超えている。

今までに、何人の同性とセックス(性交渉)したか？
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	1人	2人	3人	4人	5～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上
全体	290	37.9	15.5	6.6	3.8	11.7	9.0	5.5	3.8	6.2
男性	199	31.2	11.6	5.5	3.5	15.1	12.1	6.5	5.5	9.0
10代	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
20代	8	37.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
30代	30	23.3	16.7	6.7	0.0	20.0	16.7	10.0	3.3	3.3
40代	76	26.3	10.5	5.3	2.6	15.8	11.8	6.6	9.2	11.8
50代	63	32.1	11.3	7.5	3.8	17.0	9.4	3.8	3.8	11.3
60代	29	48.3	13.8	0.0	3.4	6.9	13.8	3.4	3.4	6.9
女性	91	52.7	24.2	8.8	4.4	4.4	2.2	3.3	0.0	0.0
10代	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	11	45.5	27.3	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	24	54.2	29.2	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	37	51.4	18.9	13.5	2.7	2.7	5.4	5.4	0.0	0.0
50代	9	44.4	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
60代	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

8) 同性と初めてのセックスしたきっかけ
「同性と初めてセックス(性交渉)をするきっかけは？」(単一回答)、「遊びや好奇心」が40.3%(男性45.7%、女性28.8%)、「愛していたから」21.4%(男性11.8%、女性42.9%)、「ただ何となく」12.8%(男性14.1%、女性9.9%)などが上位に挙げられるが、男性では「遊びや好奇心から」が、女性では「愛していたから」がトップであり、性別による大きな違いが起こっている。

同性と初めてセックス(性交渉)をするきっかけは？
(単一回答)
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	愛していたから	遊びや好奇心から	好意を込めて	お酒を飲んで	相手をつなぎ止めておきたい	無理やり	お金がほしい	ただなんとなく	ほっとく	その他
全体	290	21.4	40.3	10.0	0.0	7.6	2.1	12.8	2.4	3.4	
男性	199	11.6	45.7	10.6	0.0	8.5	3.0	14.1	2.0	4.5	
10代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	
20代	8	37.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	
30代	30	6.7	53.3	10.0	0.0	13.3	3.3	10.0	0.0	3.3	
40代	76	10.5	47.4	14.5	0.0	3.9	2.6	11.8	3.9	5.3	
50代	53	11.3	49.1	5.7	0.0	15.1	1.9	13.2	0.0	3.8	
60代	29	13.8	37.9	13.8	0.0	3.4	0.0	24.1	0.0	6.9	
女性	91	42.9	28.6	8.8	0.0	5.5	0.0	9.9	3.3	1.1	
10代	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
20代	11	45.5	18.2	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
30代	24	41.7	37.5	4.2	0.0	8.3	0.0	4.2	4.2	0.0	
40代	37	43.2	24.3	10.8	0.0	2.7	0.0	13.5	2.7	2.7	
50代	9	33.3	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	
60代	7	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	

(4)セックス（性交渉）経験のある方の性意識・性行動

1) この一年間の口腔性交の経験

「口腔性交とは、男性の性器あるいは女性の性器を口で刺激すること」と定義した上で、「この一年間で、口腔性交の経験があるか」を聞いた。「している（毎回している＋時々している）」が全体の 49.5%（男性 54.4%、女性 42.7%）、「していない（ほとんどしていない＋していない）」は 50.5%（男性 45.6%、女性 57.3%）。「毎回している」割合で多いのは、男性の 30 代（32.7%）、女性の 10 代（40.0%）。「していない」は男性の 50 代で 38.2%、60 代 51.1%、女性も 50 代以上では大半を占めている。

この一年間で、口腔性交の経験があるか
(口腔性交とは、男性の性器あるいは女性の性器を口で刺激すること)
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	毎回している	時々している	ほとんどしていない	していない
全体	4,896	23.8	25.7	11.9	38.6
男性	2,973	27.5	26.9	10.2	35.4
10代	21	16.7	58.3	12.5	12.5
20代	110	27.9	30.5	13.0	28.6
30代	533	32.7	30.2	9.8	27.3
40代	1,087	30.4	28.2	11.2	30.2
50代	853	27.0	25.1	9.8	38.2
60代	369	17.6	22.7	8.6	51.1
女性	1,923	18.7	24.0	14.3	43.0
10代	33	40.0	25.0	17.5	17.5
20代	261	34.1	31.8	17.2	16.9
30代	745	21.8	31.0	15.9	31.3
40代	621	16.9	22.1	14.2	46.7
50代	202	10.9	16.3	13.5	59.3
60代	61	7.6	8.7	5.8	77.9

2) 口腔性交の際、コンドームを使うか

口腔性交を「毎回している」「時々している」「ほとんどしていない」と回答した方に、「口腔性交の際、性感染症を予防するためにコンドームを使うか」を尋ねた。

「まったく使わない」が断然トップで、全体の 82.8%（男性 79.4%、女性 87.9%）、「使うときと使わないときがある」までを加えると 94.7%（男性 93.9%、女性 95.9%）であり、日本人には口腔性交にコンドームが必要であるとの認識はまったくと言っていいほどにない。

この傾向は男性では 30 代以上に多い。

口腔性交の際、性感染症を予防するために、コンドームを使うか？
(口腔性交を「毎回している」「時々している」「ほとんどしていない」と回答した方)
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	必ず使う	使うときと使わないときがある	まったく使わない
全体	4,896	5.3	11.9	82.8
男性	2,973	6.1	14.5	79.4
10代	21	28.6	9.5	61.9
20代	110	10.0	9.1	80.9
30代	533	5.6	12.4	82.0
40代	1,087	6.1	15.2	78.7
50代	853	5.5	15.1	79.4
60代	369	5.4	16.0	78.6
女性	1,923	4.2	8.0	87.9
10代	33	6.1	12.1	81.8
20代	261	1.9	8.8	89.3
30代	745	3.1	6.4	90.5
40代	621	5.6	7.6	86.8
50代	202	5.0	10.9	84.2
60代	61	8.2	14.8	77.0

3) 金をはらって、金をもらってのセックス経験
「恋人あるいは配偶者（妻あるいは夫）以外に、「お金をはらって」あるいは「お金をもらって」セックスしたことがあるかと尋ねると、「ある」が 32.2%（男性 52.2%、女性 4.9%）と男性では半数を超えていた。その傾向は年齢が上がるにつれ多くなり、50 代男性では 58.6%となっている。一方、女性では若年層ほど経験率が高く、10 代の女性では 12.5%となっている。

恋人あるいは配偶者（妻あるいは夫）以外に、「お金をはらって」あるいは「お金をもらって」セックスしたことがあるか？
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	ある	ない	わからない・覚えていない
全体	7,978	32.2	65.9	1.9
男性	4,602	52.2	45.5	2.3
10代	24	25.0	70.8	4.2
20代	154	30.5	66.9	2.6
30代	733	41.2	56.6	2.2
40代	1,557	53.4	44.4	2.2
50代	1,380	58.6	39.1	2.4
60代	754	54.2	43.5	2.3
女性	3,376	4.9	93.8	1.4
10代	40	12.5	87.5	0.0
20代	314	9.6	89.2	1.3
30代	1,085	6.0	92.4	1.7
40代	1,165	4.4	94.4	1.2
50代	496	1.8	96.6	1.6
60代	276	1.4	97.8	0.7

4) 初交年齢

「最初にセックス（性交渉）した年齢」を聞いた。平均初交年齢は、全体で 20.5 歳（標準偏差 4.1 歳）、男性 20.7 歳（同 4.4 歳）、女性 20.1 歳（同 3.7 歳）。性交経験がある者に限るが、男女ともに初交年齢の低年齢化が目立つ。男性 10 代は 16.0 歳、女性 10 代 16.0 歳。男性については 50 代と 5.1 歳、60 代と 5.8 歳、女性では 50 代で 5.6 歳、60 代で 6.1 歳の開きが起こっている。

最初にセックス（性交渉）をした年齢（歳）

	件数	平均	分散	標準偏差	最大値	最小値	中央値
全体	7,978	20.5	17.0	4.1	61.0	8.0	20
男性	4,602	20.7	19.3	4.4	61.0	8.0	20
10代	24	16.0	4.0	2.0	19.0	11.0	16
20代	154	18.6	7.9	2.8	28.0	9.0	19
30代	733	20.3	13.6	3.7	35.0	10.0	20
40代	1,557	20.4	17.7	4.2	43.0	10.0	20
50代	1,380	21.1	21.8	4.7	56.0	8.0	20
60代	754	21.8	22.7	4.8	61.0	10.0	20
女性	3,376	20.1	13.6	3.7	52.0	10.0	20
10代	40	16.0	2.7	1.6	19.0	11.0	16
20代	314	18.4	7.6	2.8	27.0	12.0	18
30代	1,085	19.5	11.3	3.4	36.0	12.0	19
40代	1,165	20.3	13.4	3.7	41.0	10.0	20
50代	496	21.6	15.0	3.9	49.0	12.0	21
60代	276	22.1	14.8	3.8	52.0	14.0	22

5) 初交についての考え方

「最初のセックス（性交渉）をする前に、「初めてのセックス（初体験）」をどう考えていたかを聞いた。「重大だと感じていた（かなり重大だと感じていた＋やや重大だと感じていた）」が全体の 71.1%（男性 64.6%、女性 79.9%）。この傾向は、男性では 10 代がもっとも高く

79.2%、女性では40代以上では8割を超えている。初交の重大さには、男性と女性の年齢比較では逆転している。

6) 初交相手との知り合い方

「初めてセックス（性交渉）した相手（配偶者を含む）とどこで知り合ったか」を聞くと、もっとも多かったのが男女ともに「職場やアルバイト先で知り合った」で26.8%（男性25.4%、女性28.7%）。次いで「友人や先輩から紹介されて知り合った」が23.1%（男性21.3%、女性25.6%）。「塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った」が続く。年齢による違いが顕著で、男性の10代は「友人や先輩から紹介されて知り合った」が33.3%でトップ、「もともと幼なじみであり、その人に好意をもつようになった」が29.2%と続く。男性の20代は「塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った」、「友人や先輩から紹介されて知り合った」の順。女性の10代は「友人や先輩から紹介されて知り合った」25.6%、「携帯電話やパソコンメールを通して、知り合った」20.0%。特に、「携帯電話やパソコンメールを通して、知り合った」については男女とも20代までに目立っている。

最初のセックス(性交渉)をする前に、「初めてのセックス(初体験)」をどう考えていたか？（単一回答）

	合計	かなり重大なことだと感じていた	やや重大なことだと感じていた	やや軽く考えていた	かなり軽く考えていた
全体	7,978	33.1	38.0	21.4	7.5
男性	4,602	25.8	38.8	25.7	9.7
10代	24	41.7	37.6	12.5	8.3
20代	154	32.5	35.1	22.7	9.7
30代	733	26.9	41.5	22.2	9.4
40代	1,557	28.1	38.2	23.4	10.4
50代	1,380	24.7	39.9	26.6	8.8
60代	754	20.2	36.2	33.6	10.1
女性	3,376	43.1	36.8	15.5	4.6
10代	40	32.5	30.0	30.0	7.5
20代	314	41.1	33.1	20.4	5.4
30代	1,085	39.4	38.7	16.3	5.6
40代	1,165	43.3	36.1	16.1	4.6
50代	496	49.8	36.7	10.5	3.0
60代	276	48.9	38.4	10.9	1.8

7) 初交のきっかけ（単一回答）

「初めてセックス（性交渉）をするきっかけ」を聞いた。「愛していたから」が全体の51.0%でトップ。これは男女とも同様で、男性の44.2%、女性の50.3%が回答していた。男性では第2位が「遊びや好奇心で」29.7%、次いで「ただなんとなく」12.1%。女性では「ただなんとなく」12.1%、「遊びや好奇心で」11.8%の順。年齢をみると、男性の10代は「愛していたから」が66.7%、「遊びや好奇心で」16.7%。年齢が上がるに伴い「愛」が低下し、「遊び」が増える傾向にある。女性では高年齢ほどに「愛」の割合が高い。

初めてセックス(性交渉)をした相手(配偶者を含む)とどこで知り合ったか？（単一回答）

	合計	もともと幼なじみであり、その人に好意をもつようになった	友人や先輩から紹介されて知り合った	塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った	職場やアルバイト先で知り合った	携帯電話やパソコンメールを通して、知り合った	町で声をかけられたり、見かけたことによって知り合った	その他
全体	7,978	8.0	23.1	17.4	26.8	3.0	6.6	4.7
男性	4,602	9.0	21.3	17.0	25.4	2.5	7.8	4.1
10代	24	29.2	33.3	12.5	8.3	12.5	0.0	4.2
20代	154	13.0	22.1	26.6	14.9	10.4	1.3	0.0
30代	733	7.1	25.0	20.6	23.2	6.7	5.5	1.8
40代	1,557	9.4	21.2	16.6	27.6	2.3	7.0	2.4
50代	1,380	9.1	21.8	17.5	24.6	0.7	7.8	4.5
60代	754	8.5	16.6	11.7	27.3	0.3	13.5	9.9
女性	3,376	6.6	25.6	18.0	28.7	3.8	5.0	5.5
10代	40	12.5	22.5	17.5	17.5	20.0	0.0	0.0
20代	314	6.7	26.4	19.4	20.7	14.0	2.2	0.0
30代	1,085	6.0	28.6	19.2	27.4	5.4	5.6	1.3
40代	1,165	6.8	24.5	19.0	31.1	1.2	6.2	4.1
50代	496	7.5	25.4	14.7	29.6	0.2	3.6	13.1
60代	276	6.2	18.1	13.8	33.3	0.4	3.6	21.0

8) 出会ってから初交が行われるまでの期間

「初めてのセックス（性交渉）した相手と、出会ってからセックス（性交渉）するまでの交際期間」を尋ねると、「3ヶ月未満」が23.2%と第一で、「1ヶ月未満」17.1%、「6ヶ月未満」14.6%、「1日（出会ったその日）」13.5%の順。男性では「3ヶ月未満」「1日（出会ったその日）」、女性は「3ヶ月未満」「1ヶ月未満」「6ヶ月未満」の順。男性の50代、60代は「1日（出会ったその日）」が最多で、それぞれ21.4%、23.6%。その一方、女性の10代では「1日（出会った日）」が15.0%と他の世代に比べて極端に早い結果であった。

初めてセックス(性交渉)した相手と、出会ってからセックス(性交渉)するまでの交際期間は？（単一回答）

	合計	1日(出会ったその日)	1週間未満	1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	3年未満	3年以上
全体	7,978	13.5	6.2	17.1	23.2	14.8	13.2	7.6	4.4
男性	4,602	20.0	6.8	16.4	21.3	13.1	11.4	6.5	4.5
10代	24	12.5	12.5	20.8	29.2	8.3	4.2	4.2	8.3
20代	154	13.6	10.4	25.3	23.4	13.6	7.8	5.2	0.6
30代	733	18.0	8.9	21.0	23.9	11.2	8.7	5.5	2.9
40代	1,557	18.6	7.3	15.2	22.7	14.3	10.5	6.5	5.0
50代	1,380	21.4	5.7	15.9	20.6	13.3	11.6	6.7	4.9
60代	754	23.6	4.9	13.4	16.8	12.5	16.2	7.4	5.2
女性	3,376	4.6	5.3	18.0	25.8	17.1	15.7	9.2	4.3
10代	40	15.0	12.5	15.0	25.0	12.5	5.0	7.5	7.5
20代	314	6.4	8.3	23.9	28.0	13.1	11.8	6.1	2.5
30代	1,085	5.9	7.3	24.0	27.9	15.0	10.6	5.9	3.4
40代	1,165	4.9	3.9	16.7	25.8	18.8	16.1	9.2	4.5
50代	496	1.0	3.8	8.9	24.6	20.6	21.4	14.7	5.0
60代	276	1.1	1.8	9.8	16.7	17.4	30.4	15.6	7.2

(5) コンドームの使用について

1) 初交時のコンドーム使用

「初めてのセックス（性交渉）のときコンドームを使ったか」に対しては、51.7%（男性51.7%、女性51.7%）が「使った」と回答したもの、「使わなかった」も37.1%（男性40.8%、女性32.0%）もいた。初交時のコンドーム使用は、男女ともに若年齢ほど「使った」割合が高く、10代の男性は79.2%が、女性は72.5%が「使った」と回答しているのに、60代の男性では34.2%、女性では25.0%と低率であった。

初めてのセックス(性交渉)のときコンドームを使ったか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	使った	使わなかった	覚えていない
全体	7,978	51.7	37.1	11.2
男性	4,602	51.7	40.8	7.6
10代	24	79.2	16.7	4.2
20代	154	72.1	22.7	5.2
30代	733	66.3	28.2	5.5
40代	1,557	58.1	36.5	7.4
50代	1,380	45.6	46.2	8.2
60代	754	34.2	56.4	9.4
女性	3,376	51.7	32.0	16.2
10代	40	72.5	25.0	2.5
20代	314	66.9	24.8	8.3
30代	1,085	58.1	26.0	15.9
40代	1,165	51.8	31.2	17.3
50代	496	41.9	39.7	18.3
60代	276	25.0	55.1	19.9

2) コンドーム使用についての考え（複数回答）
「コンドームを使うことについての考え」を聞いた。回答者全体では「安心できる」が 51.3%とトップ、次いで「マナーである」44.3%、「相手からの愛情（相手への責任）を感じる」23.3%、「面倒くさい」21.7%と続く。「安心できる」は男女ともに高いが、男性では「マナーである」37.6%、「面倒くさい」28.5%、「気持ちよくない」21.9%。女性は「安心できる」58.8%、「マナーである」53.4%、「相手からの愛情（相手への責任）を感じる」36.7%の順。年齢比較では「安心できる」「相手からの愛情（相手への責任）を感じる」が男女とも若年齢ほど高く、「気持ちよくない」が 10 代、20 代の女性で、「かっこ悪い」が 10 代の男性で 8.3%、20 代 3.9%、30 代 2.2%で概して高い。

コンドームを使うことについての考えは？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	かっこ悪い	面倒くさい	気持ちよくない	相手からの愛情（相手への責任）を感じる	安心できる	マナーである	その他
全体	7,978	1.5	21.7	12.1	2.6	16.3	0.7	51.3
男性	4,602	2.0	28.5	12.5	1.8	21.9	0.5	45.8
10代	24	8.3	25.0	12.5	4.2	16.7	0.0	62.5
20代	154	3.9	22.1	5.8	0.0	22.7	1.9	63.9
30代	733	2.2	21.1	8.5	1.8	22.0	1.2	46.2
40代	1,557	1.9	27.4	11.2	2.0	21.7	0.6	45.5
50代	1,380	1.7	33.5	12.8	1.7	22.1	0.2	44.9
60代	754	1.9	30.2	19.8	2.0	21.9	0.0	45.9
女性	3,376	0.8	12.5	11.6	3.8	8.7	1.0	58.8
10代	40	2.5	10.0	2.5	5.0	2.5	2.5	62.5
20代	314	1.0	13.1	8.6	6.1	13.4	1.0	64.6
30代	1,085	0.6	12.0	10.6	4.0	10.0	1.4	61.5
40代	1,165	1.1	13.4	12.6	3.3	7.5	1.0	58.2
50代	496	0.4	12.1	12.9	2.6	8.5	0.2	53.2
60代	276	1.1	10.9	14.1	4.3	5.1	0.4	53.3

3) 決まった交際相手とのセックスでのコンドーム使用（この一年間）。
「この一年では、決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）とのセックス（性交渉）でコンドームを毎回使っているか」を聞いた。「一年以内に決まった交際相手とセックス（性交渉）をしていない」が 34.3%（男性 34.4%、女性 34.0%）、「妊娠を望んでいるので使っていない」が 6.0%（男性 3.7%、女性 9.0%）いるもの

の、「必ず使っている」は 19.8%（男性 21.2%、女性 18.0%）。「必ず使っている」は男女ともに若年齢に多く、男性の 10 代では 66.7%、20 代 39.0%、30 代 30.3%、女性の 10 代 52.5%、20 代 27.7%、30 代 20.6%であり、妊娠から解放された世代が、コンドームの使用に消極的であることがわかる。女性の 20 代、30 代は「妊娠を望んでいるので、使っていない」割合が高い。

この一年では、決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）とのセックス(性交渉)でコンドームを毎回使っているか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	必ず使っている	使うときと使わないときがある	使っていないが、使うことを考えている	使っていないし、使うことも考えていない	妊娠を望んでいるので、使っていない	配偶者あるが、決まった交際相手とセックス(性交渉)をしていない	1年以内に決まった交際相手とセックス(性交渉)をしていない
全体	7,978	19.8	15.0	4.1	19.3	6.0	1.5	34.3
男性	4,602	21.2	15.1	3.7	20.3	3.7	1.6	34.4
10代	24	66.7	8.3	8.3	4.2	4.2	4.2	4.2
20代	154	39.0	22.1	2.6	4.5	4.5	2.6	24.7
30代	733	30.3	15.7	4.8	12.8	8.6	1.2	25.7
40代	1,557	23.4	18.6	4.4	15.7	4.9	1.9	31.1
50代	1,380	18.3	13.1	3.9	26.4	1.4	1.2	36.2
60代	754	8.0	9.7	1.9	29.6	0.8	1.9	48.3
女性	3,376	18.0	15.0	4.8	17.9	9.0	1.3	34.0
10代	40	52.5	15.0	10.0	10.0	0.0	2.5	10.0
20代	314	27.7	25.8	8.3	11.8	11.5	0.3	14.6
30代	1,085	20.6	19.3	6.5	13.4	17.9	1.4	20.9
40代	1,165	18.4	14.5	4.6	17.7	6.1	1.1	37.6
50代	496	10.5	6.9	1.0	28.4	0.6	1.8	50.8
60代	276	3.3	2.5	0.7	25.7	0.4	1.4	65.9

4) 決まった交際相手以外とのセックスでのコンドームの使用（この一年間）
「この一年では、決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）とのセックス（性交渉）でコンドームを毎回使っているか」を聞いた。「決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）以外とのセックス（性交渉）はない」が 70.9%（男性 61.4%、女性 83.9%）と大半を占めているが、「必ず使っている」が 12.1%（男性 17.2%、女性 5.0%）でこの傾向は若年者ほど高い。

この一年では、決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）以外とのセックス(性交渉)でコンドームを毎回使っているか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	必ず使っている	使うときと使わないときがある	使っていないが、使うことを考えている	使っていないし、使うことも考えていない	決まった交際相手(配偶者や同性の相手を含む)以外とのセックス(性交渉)はない
全体	7,978	12.1	7.9	2.2	6.8	70.9
男性	4,602	17.2	10.6	2.6	8.1	61.4
10代	24	25.0	16.7	0.0	8.3	50.0
20代	154	26.0	17.5	2.6	2.6	51.3
30代	733	24.6	12.0	2.5	5.5	55.5
40代	1,557	18.6	12.4	3.3	5.7	60.1
50代	1,380	15.4	9.4	2.2	9.9	63.0
60代	754	8.6	6.1	2.3	13.7	69.4
女性	3,376	5.0	4.3	1.7	5.1	83.9
10代	40	12.5	5.0	0.0	0.0	82.5
20代	314	8.0	5.1	2.9	2.5	81.5
30代	1,085	7.2	5.1	1.9	3.2	82.6
40代	1,165	3.7	4.7	1.6	5.1	84.9
50代	496	3.2	2.6	1.0	7.7	85.5
60代	276	0.7	1.4	0.7	11.6	85.5

5) コンドームを使っている理由（複数回答）
現在コンドームを使っていると回答した方に、「コンドームを使っている理由は何か」と尋ねると、「確実な避妊法だと思ふから」が 65.7%（男性 65.9%、女性 65.4%）と第一位を占め、「性感染症予防のため」43.2%（男性 46.9%、

女性 36.7%)、「安心できるから」37.1% (男性 34.8%、女性 41.2%) が上位を占めている。「確実な避妊だと思うから」は全年齢層に共通しているが、「性感染症予防のため」の意識は 10 代の男性では 76.2%、10 代の女性で 72.4%と極めて高く、若い世代に「コンドームは性感染症予防の用具」の浸透していることが考えられる。「安心できるから」も若年層ほど高い。

現在コンドームを使っていると答えた方
コンドームを使っている理由は何か？(複数回答)

	合計	性感染症予防のため	確実な避妊のため	相手から渡っているから	コンドーム以外の避妊法を知らないから	避妊が面倒だから	どこでも手に入りやすいから	安心できるから	よく使われているから	なんとなく	その他
全体	3,281	43.2	65.7	5.0	7.6	13.3	22.1	37.1	14.1	2.9	1.5
男性	2,082	46.9	65.9	2.4	7.3	12.9	18.5	34.8	11.3	2.5	1.2
10代	108	76.2	66.7	14.3	9.5	9.5	23.8	47.6	23.8	4.8	0.0
20代	432	52.8	64.8	3.7	12.0	22.2	20.4	39.8	18.5	1.9	1.9
30代	799	46.5	68.5	2.3	7.9	12.3	16.2	31.0	12.5	3.0	0.9
40代	543	44.3	67.1	2.1	6.8	12.9	20.0	34.8	11.9	3.0	0.9
50代	179	46.8	66.1	2.6	6.3	11.8	17.3	34.1	7.9	1.3	2.2
60代	1,199	52.5	54.7	1.7	8.4	12.3	19.0	41.3	10.6	2.8	0.0
女性	21	36.7	65.4	9.4	8.0	14.0	28.4	41.2	19.0	3.7	2.0
10代	29	72.4	48.3	20.7	10.3	24.1	31.0	51.7	44.8	0.0	0.0
20代	174	52.9	67.2	10.3	9.2	23.6	40.8	46.6	34.5	0.6	4.0
30代	472	34.5	69.3	7.4	8.5	14.4	28.6	40.3	17.6	3.4	1.9
40代	410	30.7	66.6	10.2	6.8	11.5	26.6	39.8	14.6	4.9	1.2
50代	96	31.3	50.0	8.3	9.4	4.2	16.7	41.7	12.5	5.2	3.1
60代	18	44.4	27.8	22.2	0.0	5.6	5.6	27.8	0.0	11.1	0.0

6) コンドームを使わないという回答者は性感染症についてどう感じているか

現在コンドームを使わないことがあると答えた方に、「性感染症に対して、どのように感じているか」を尋ねると、「自分には関係ないとは思わないが、危機感はない」が最多で 67.8% (男性 65.5%、女性 71.2%)。「自分とは関係ない」は男性の 10 代が 37.5%と多く、女性では年齢が上がるにつれ「自分とは関係ない」との認識を持つ例がある。「身近に感じており、危機感がある」は男性の 20.3%、女性では 14.8%であるが、女性では若年齢層ほど「危機感」があるものの、男性では「自分とは関係ない」が 10 代の 37.5%を占めている。

現在コンドームを使わないことがあると答えた方
性感染症に対して、どのように感じているか？

	合計	自分とは関係ない	自分には関係ないとは思わないが、危機感はない	身近に感じており、危機感がある	その他
全体	3,433	13.3	67.8	18.1	0.8
男性	2,067	13.3	65.6	20.3	0.9
10代	8	37.5	50.0	12.5	0.0
20代	56	14.3	62.5	23.2	0.0
30代	294	8.2	66.0	25.5	0.3
40代	698	10.9	64.2	24.1	0.9
50代	665	15.2	68.0	16.1	0.8
60代	346	18.2	64.2	15.9	1.7
女性	1,366	13.4	71.2	14.8	0.7
10代	14	0.0	71.4	28.6	0.0
20代	151	6.6	68.9	34.4	0.0
30代	462	6.3	75.5	18.2	0.0
40代	458	12.9	75.5	10.3	1.3
50代	192	26.6	66.7	5.7	1.0
60代	89	38.2	56.2	4.5	1.1

7) コンドームが破れたあるいは精液が漏れてしまった経験

(現在性交渉がある人) に、『かつてコンドームが破けた』あるいは『はずれて精液がもれ

てしまった』経験があるか」を聞いたところ、「ある」が 19.9% (男性 21.7%、女性 17.3%)、「ない」が 66.8% (男性 66.8%、女性 66.8%)という結果であった。年齢をみると、「ある」は男性の 10 代が 29.2%と高いが、一方、女性の 10 代では 7.5%と低率になっていた。

8) コンドームが破けた、あるいはコンドームがはずれたことのある人に、その時の対処法

かつて「コンドームが破けた」あるいは「コンドームがはずれて精液がもれてしまった」経験のある人に、「その時、どのように対処したか」(複数回答)を聞いた。「生理が来るのを待った」が最多で 62.2% (男性 56.3%、女性 72.3%)、「気にしなかった」は 18.7% (男性 23.3%、女性 10.8%)、「緊急避妊を行った」7.3% (男性 6.7%、女性 8.4%)の結果であった。このうち、「緊急避妊を行った」については、男性の 10 代 57.1%、20 代 20.8%、女性の 10 代 66.7%、20 代 19.6%、30 代 11.8%と他の年齢層に比べて明らかに高率であった。緊急避妊薬が承認されたのが 2011 年 2 月、発売が同年 5 月であり、まだまだ広く浸透していないとはいえ、若い世代がインターネットなどを通じて、緊急事態に対処している姿を窺い知ることができた。

(6) 性感染症についての認識

1) 性感染症に感染していると思うか

「性感染症に感染していると思うか」を尋ねると、「セックス(性感染症)したことがない」が 7.8% (男性 7.6%、女性 8.1%) いるものの、86.1% (男性 86.9%、女性 85.0%) は「感染しているとは思わない」と回答。「感染している」「たぶん感染していると思う」「もしかすると感染しているかもしれないと思う」とは加えた「感染していることに不安がある」割合は 6.1% (男性 5.5%、女性 7.0%)。「感染しているとは思わない」の回答は、男女ともに高年齢に多い。

性感染症に感染していると思うか？

	合計	感染している	たぶん感染していると思う	もしかすると感染しているかもしれないと思う	感染しているとは思わない	セックス(性交渉)したことがない
全体	8,700	0.4	0.5	5.2	86.1	7.8
男性	5,002	0.5	0.6	4.4	86.9	7.6
10代	120	0.0	0.0	3.3	19.2	77.5
20代	251	0.4	2.0	6.8	52.6	38.2
30代	828	0.7	0.6	6.5	80.9	11.2
40代	1,635	0.4	0.5	6.1	88.6	4.4
50代	1,402	0.4	0.6	2.4	95.4	1.2
60代	766	0.4	0.7	1.7	96.0	1.3
女性	3,698	0.4	0.4	6.2	85.0	8.1
10代	152	0.0	0.0	2.0	26.3	71.7
20代	413	1.0	0.0	12.1	64.2	22.8
30代	1,130	0.6	0.7	8.9	86.1	3.6
40代	1,217	0.2	0.4	4.8	90.6	3.9
50代	506	0.0	0.0	2.8	96.2	1.0
60代	280	0.0	0.0	0.7	98.9	0.4

2)聞いたことがある性感染症（複数回答）

エイズ（H I V）、クラミジア、梅毒、淋病、ケジラミ、ヘルペス、尖圭コンジローマ、トリコモナス、B型肝炎など9疾患を挙げて、「聞いたことがある性感染症」を複数回答してもらった。その結果、「聞いたことがある」、換言すればもっとも認知度の高い性感染症はエイズ（H I V）で92.6%（男性92.3%、女性92.9%）、次いで梅毒86.9%（男性88.3%、女性85.1%）、クラミジア84.0%（男性81.6%、女性87.2%）、淋病83.7%（男性86.4%、女性80.0%）。性感染症としての認知度が低いのは尖圭コンジローマで29.3%（男性30.0%、女性28.3%）。B型肝炎については44.5%（男性43.7%、女性45.5%）が性感染症として「聞いたことがある」と回答していた。年齢による違いをみると、梅毒、淋病、ケジラミやトリコモナスが若年層での認知度が低く、それ以外の疾患では年齢よる差がなかった。

聞いたことがある性感染症とは(複数回答)
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	エイズ (HIV)	クラミ ジア	梅毒	淋病	ケジ ラミ	ヘル ペス	尖圭コンジ ローマ	トリコ モナス	B型肝 炎	その他	性感染症について 聞いたことはない
全体	8.706	92.6	84.0	86.9	83.7	65.4	67.8	29.3	37.0	44.5	0.6
男性	5.002	92.3	81.6	88.3	86.4	67.6	68.1	30.0	29.7	43.7	0.5
10代	120	93.3	72.5	60.8	48.7	21.7	53.3	22.5	5.8	40.0	0.0
20代	251	88.0	76.1	68.5	63.7	47.8	63.3	31.5	10.0	37.8	0.4
30代	828	93.1	85.0	83.0	81.9	68.7	67.9	36.6	16.2	41.3	0.0
40代	1.635	92.7	84.8	90.9	88.4	71.0	73.1	37.6	27.3	46.7	0.6
50代	1.402	92.6	82.2	92.4	91.7	70.8	70.5	26.0	37.9	45.9	0.7
60代	766	91.1	73.2	91.5	90.7	67.1	57.0	14.9	44.8	38.3	0.4
女性	3.698	92.9	87.2	85.1	80.0	62.3	67.4	28.3	46.9	45.5	0.6
10代	152	94.7	75.0	60.5	48.0	26.3	63.8	27.0	11.2	47.4	0.7
20代	413	94.2	88.4	76.3	66.8	54.5	77.0	32.9	38.0	48.4	0.7
30代	1.130	93.7	90.6	83.2	77.5	66.5	72.3	32.7	42.9	45.1	0.9
40代	1.217	93.3	89.5	90.1	86.7	68.0	68.1	30.2	53.4	47.9	0.5
50代	506	91.3	84.6	90.9	88.5	59.7	60.9	20.9	55.5	45.1	0.6
60代	280	88.6	72.5	87.1	82.5	56.1	44.3	8.9	51.1	32.5	0.4

3)性感染症の検査をうけたことがあるか

(性感染症については聞いたことがある人に)
「性感染症に感染しているかどうかを知る目的で検査を受けたことがあるか」を聞いた。「受けたことがある」は20.1%（男性18.6%、女性22.1%）、異性と性交経験あり人で検査を受けたと回答した者は21.6%（男性19.8%、女性24.0%）、

(性感染症について聞いたことがある人)
性感染症に感染してるかどうかを知る目的で
検査をうけたことがあるか
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	受けたことがある	受けたことがない	(異性と性交経験あり) 検査を受けた	(同性と性交経験あり) 検査を受けた
全体	8,328	20.1	79.9	21.6	37.5
男性	4,783	18.6	81.4	19.8	41.8
10代	115	3.5	96.5	13.0	33.3
20代	231	8.2	91.8	13.3	37.5
30代	790	15.1	84.9	16.0	57.1
40代	1,567	18.6	81.4	19.3	40.0
50代	1,346	20.4	79.6	20.5	46.2
60代	734	24.7	75.3	24.7	25.0
女性	3,545	22.1	77.9	24.0	28.6
10代	145	2.8	97.2	10.3	0.0
20代	398	25.9	74.1	32.8	18.2
30代	1,087	29.4	70.6	30.5	41.7
40代	1,172	21.7	78.3	22.6	27.0
50代	481	13.9	86.1	14.2	22.2
60代	262	14.1	85.9	14.2	28.6

同性と性交が経験ある人で検査を受けたのは

37.5%（男性41.8%、女性28.6%）で、同性との性交経験者は検査に積極的であることがわかる。男性では若年齢ほど検査に消極的、女性は10代、50代、60代で検査を受けたことがある割合が低かった。

(7)性感染症の検査を受けた方の意識と行動

1)性感染症の検査を受けようと思ったきっかけ

「性感染症の検査を受けようと思ったきっかけ」を複数回答で尋ねると、トップは「気になる症状（自覚症状）があったから」で37.3%（男性37.5%、女性37.1%）、次いで「何に影響されたわけではなく、自分の意志で」25.4%（男性31.5%、女性18.6%）、「医師から勧められて」14.2%（男性6.9%、女性22.5%）の順。「気になる症状があったから」検査を受けるのは当然だが、女性では「医師から勧められて」が検査を受ける大きなきっかけになるようだ。男性では若年層が「パートナー（性交渉の相手）が性感染症にかかっていたから」「友人や家族から勧められて」をきっかけとしており、特に10代は「パートナーの感染をきっかけに」が50%を占めていた。検査人数は少ないとはいえ、「学校での性教育で学んだから」が10代の男性75.0%、女性25.0%、「パートナー（性交渉の相手）が変わったから」も10代の女性の25.0%が回答していた。男性の10代、50代、60代は「テレビや新聞などで取り上げられた番組や記事を見て」が他の年齢層に比べて多い結果となっている。

性感染症の検査を受けようと思ったきっかけ(複数回答)
(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	パートナー(性 交渉の相手) が性感染症に かかっていた から	気になる 症状(自 覚症状) があった から	医師 から 勧め られ て	友人や 家族か ら勧め られ て	パートナ ー(性交 渉の相 手)が変 わった から	学校で の性教 育で学 んだか ら	テレビや 新聞な どで取 り上げ られた 番組や 記事 を見て	何に影 響され たわけ ではなく 、自分 の意 志で	その他
全体	1,674	8.8	37.3	14.2	3.6	6.2	1.6	7.2	25.4	16.9
男性	889	8.5	37.5	6.9	4.6	5.8	1.2	9.7	31.5	10.8
10代	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
20代	19	15.8	42.1	5.3	15.8	5.3	5.3	5.3	21.1	5.3
30代	119	17.6	38.7	9.2	7.6	7.6	1.7	1.7	28.6	5.0
40代	291	9.6	40.9	7.6	4.1	7.6	0.3	7.6	30.9	10.0
50代	275	6.9	37.1	6.5	1.8	2.9	1.1	10.5	31.6	13.8
60代	181	1.7	31.5	5.0	6.1	6.6	0.6	17.1	35.9	12.2
女性	785	9.0	37.1	22.5	2.4	6.6	1.9	4.3	18.6	23.8
10代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0
20代	103	7.8	48.5	21.4	4.9	8.7	1.9	2.9	18.4	22.3
30代	320	10.3	41.3	25.3	1.9	8.1	2.5	3.8	15.0	19.4
40代	254	7.1	28.0	24.8	2.4	3.9	0.8	4.7	20.1	28.3
50代	67	11.9	38.8	13.4	1.5	6.0	1.5	6.0	26.9	25.4
60代	37	10.8	29.7	5.4	2.7	5.4	2.7	8.1	27.0	29.7

さらに、「検査を受けようと思った一番のきっかけ」を聞くと、「気になる症状（自覚症状）があったから」34.0%（男性34.8%、女性33.1%）、「何に影響さされたわけではなく、自分の意志で」22.6%（男性29.1%、女性15.2%）であるが、「パートナー（性交渉の相手）が感染し

ていたから」「友人や家族から勧められて」が男性の若年齢で多く、「医師から勧められて」が女性の20代から50代に目立っている。男性の60代は「テレビや新聞などで取り上げられた番組や記事を見て」が13.3%と他の年齢層に比べて多い結果となっている。

性感染症の検査を受けようと思った一番のきっかけ

（北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011）										
	合計	パートナー（性交渉の相手）が性感染症にかかっていたから	気になる（自覚症状）があったから	医師から勧められて	友人やパートナー家族から勧められて	学校で性教育で学んだから	テレビや新聞などで取り上げられた番組や記事を見て	何に影響されただけではなく、自分の意識で	その他	その能
全体	1,674	6.3	34.0	11.5	1.7	3.9	0.7	4.6	22.6	14.7
男性	889	6.7	34.6	5.5	2.7	4.2	0.7	6.6	29.1	9.7
10代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	19	5.3	15.8	5.3	5.3	5.3	0.0	5.3	21.1	5.3
30代	119	14.3	34.5	5.9	5.9	4.2	0.8	0.8	28.6	5.0
40代	291	6.5	36.6	6.2	2.1	4.8	0.0	4.8	29.2	9.6
50代	275	6.2	36.0	5.6	0.7	2.9	0.7	6.9	28.4	12.4
60代	181	1.7	30.4	3.9	4.4	5.0	0.0	13.3	32.0	9.4
女性	785	5.9	33.1	18.2	0.5	3.7	0.8	2.3	15.2	20.4
10代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
20代	103	2.9	41.7	13.6	0.0	2.9	0.0	1.9	16.5	20.4
30代	320	7.2	35.9	20.9	0.6	5.3	0.9	0.9	11.9	16.3
40代	254	5.9	26.4	20.9	0.4	2.4	0.8	2.8	16.9	23.6
50代	67	6.0	34.3	10.4	0.0	1.5	0.0	4.5	20.9	22.4
60代	37	2.7	29.7	5.4	2.7	2.7	2.7	8.1	18.9	27.0

2) 性感染症の検査を受けた場所（複数回答）

「性感染症の検査をどこで受けたか」を複数回答で聞いた。医療機関が最多で84.9%（男性80.1%、女性90.4%）、保健所などの公的機関は16.8%（男性22.8%、女性10.1%）、在宅（郵送インターネット検査）も1.9%（男性1.7%、女性2.0%）であった。一般には性感染症の検査は医療機関で行うとの認識が定着しているようだ。

性感染症の検査をどこで受けたか（複数回答）

（北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011）				
	合計	医療機関	保健所などの公的機関	在宅（郵送インターネット検査）
全体	1,674	84.9	16.8	1.9
男性	889	80.1	22.8	1.7
10代	4	75.0	50.0	0.0
20代	19	73.7	26.3	5.3
30代	119	76.5	25.2	5.0
40代	291	77.0	28.2	2.1
50代	275	85.5	17.1	0.7
60代	181	80.1	20.4	0.0
女性	785	90.4	10.1	2.0
10代	4	100.0	0.0	0.0
20代	103	92.2	10.7	2.9
30代	320	92.2	8.4	2.8
40代	254	88.6	11.0	1.6
50代	67	86.6	13.4	0.0
60代	37	89.2	10.8	0.0

3) 検査の結果、どのような診断を受けたか

「検査の結果、（覚えていない範囲で）診断された性感染症」を聞いた。「性感染症にかかっていなかった」が63.5%（男性64.5%、女性62.4%）いたが、クラミジアの診断がもっとも多く16.7%（男性11.8%、女性22.3%）、淋病9.0%（男性14.6%、女性2.5%）、ヘルペス4.8%（男性4.5%、女性5.2%）、トリコモナス3.8%（男性0.4%、女性7.6%）など。エイズ（HIV）も2.0%（男性2.6%、女性1.3%）あった。年齢との関連を

みると、10代の男女は数が少ないので省略すると、女性の若年層でクラミジア、男性は梅毒と淋菌、ヘルペスなどが目立っている。

検査の結果、（覚えていない範囲で）診断された性感染症は

（複数回答）（北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011）										
	合計	エイズ（HIV）	クラミジア	梅毒	淋病	ケジラミ	ヘルペス	尖圭コンジローマ	トリコモナス	肝臓
全体	1,674	2.0	16.7	1.4	9.0	2.9	4.8	2.2	3.8	0.7
男性	889	2.6	11.8	2.2	14.6	4.5	4.5	2.1	0.4	0.9
10代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20代	19	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3	15.8	0.0	0.0	0.0
30代	119	3.4	18.5	2.5	6.7	2.5	6.7	2.5	0.0	1.7
40代	291	3.8	15.5	3.1	13.1	5.8	3.4	3.8	0.7	1.0
50代	275	1.1	10.2	1.8	19.6	2.5	4.7	0.7	0.4	0.4
60代	181	1.7	3.9	1.1	14.9	6.6	2.8	1.7	0.6	1.1
女性	785	1.3	22.3	0.5	2.5	1.1	5.2	2.2	7.6	0.5
10代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	103	2.9	26.2	1.9	4.9	1.0	2.9	3.9	2.9	1.0
30代	320	2.2	26.9	0.0	2.5	0.6	6.6	2.2	4.1	0.6
40代	254	0.0	18.1	0.0	0.8	1.6	4.7	1.2	10.2	0.4
50代	67	0.0	14.9	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	16.4	0.0
60代	37	0.0	13.5	2.7	8.1	2.7	10.8	5.4	18.9	0.0

4) 治療が完了した性感染症

「診断の結果、（覚えていない範囲で）治療が完了した性感染症は」を尋ねた。その結果、治療完了率がもっとも高かったのはケジラミで98.0%（男性97.5%、女性100.0%）、クラミジア96.8%（男性96.2%、女性97.1%）、淋病95.3%（男性96.9%、85.0%）トリコモナス95.3%（男性100.0%、女性95.0%）。エイズ（HIV）については27.3%（男性30.4%、女性20.0%）が治療が完了したと回答している。

診断の結果、（覚えていない範囲で）治療が完了した割合

治療完了率=診断／治療完了（北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011）										
	合計	エイズ（HIV）	クラミジア	梅毒	淋病	ケジラミ	ヘルペス	尖圭コンジローマ	トリコモナス	肝臓
全体	36.5	27.3	96.8	75.0	95.3	98.0	87.7	91.7	95.3	50.0
男性	35.5	30.4	96.2	80.0	96.9	97.5	75.0	84.2	100.0	62.5
10代	60.0	100.0	-	-	-	-	0.0	-	-	-
20代	36.8	0.0	100.0	100.0	66.7	100.0	33.3	-	-	-
30代	36.1	50.0	95.5	66.7	100.0	100.0	87.5	0.0	-	100.0
40代	38.1	27.3	93.3	66.7	94.7	94.1	80.0	100.0	100.0	33.3
50代	34.5	33.3	100.0	100.0	98.1	100.0	69.2	100.0	100.0	100.0
60代	32.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0
女性	37.6	20.0	97.1	50.0	85.0	100.0	100.0	100.0	95.0	25.0
10代	25.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
20代	42.7	33.3	92.6	50.0	80.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
30代	41.3	14.3	98.8	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
40代	32.7	-	97.8	-	50.0	100.0	100.0	100.0	92.3	100.0
50代	32.8	-	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
60代	35.1	-	100.0	0.0	66.7	100.0	100.0	100.0	85.7	-

(8) 性感染症の診断を受けた方の意識と行動

1) 性感染症にかかったことを性交相手に話したか

「性感染症にかかったことを性交の相手に話したか」を聞いた。「覚えていない」の回答が8.3%（男性8.9%、女性7.8%）にあったが、「話した」は58.1%（男性47.8%、女性69.2%）。各年齢層で、女性の方が男性に「話した」割合が高く、当然ながら「話さなかった」割合が男性では30代以上に高い結果となった。

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	読した	読まなかった	覚えていない
全体	611	58.1	33.6	8.3
男性	316	47.8	43.4	8.9
10代	2	100.0	0.0	0.0
20代	7	57.1	28.6	14.3
30代	43	46.5	44.2	9.3
40代	111	50.5	41.4	8.1
50代	95	45.3	44.2	10.5
60代	58	44.8	48.3	6.9
女性	295	69.2	23.1	7.8
10代	1	0.0	100.0	0.0
20代	44	70.5	25.0	4.5
30代	132	67.4	24.2	8.3
40代	83	71.1	21.7	7.2
50代	22	72.7	13.6	13.6
60代	13	69.2	23.1	7.7

その時、性交の相手は検査(治療)されたか？

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	合計	検査（治療）した	検査（治療）していない	わからない
全体	355	62.5	25.6	11.8
男性	151	70.9	13.2	15.9
10代	2	100.0	0.0	0.0
20代	4	50.0	50.0	0.0
30代	20	85.0	5.0	10.0
40代	56	67.9	16.1	16.1
50代	43	74.4	11.6	14.0
60代	26	61.5	11.5	26.9
女性	204	56.4	34.8	8.8
10代	0	0.0	0.0	0.0
20代	31	58.1	35.5	6.5
30代	89	59.6	30.3	10.1
40代	59	60.8	39.0	10.2
50代	16	56.3	37.5	6.3
60代	9	55.6	44.4	0.0

1) 性感染症の検査を受けたことがない理由
「性感染症の検査を受けたことがない理由は」と聞くと、「セックス（性交渉）の経験がないから」が 9.0%（男性 8.5%、女性 15.9%）あるものの、「自覚症状がないから」が 65.1%（男性 66.4%、女性 63.2%）でトップ、「特定の相手以外とセックス（性交渉）はしないから」33.9%（男性 30.3%、女性 39.1%）、「パートナー（性交渉の相手）に症状がないから」19.8%（男性 17.7%、女性 22.8%）、「特に理由はないが、自分が性感染症になることはない」17.0%（男性 17.8%、女性 15.9%）と続く。これらの理由は男女ともに高年齢ほど多い傾向にある。また「いつも予防（コンドームの使用）をしているから」は 11.5%（男性 13.1%、女性 9.2%）であ

り、この理由を挙げる男性が目立つ。「どこで検査を受けてよいのかわからないから」は7.4%（男性6.9%、女性8.2%）、「費用がかかるから」は7.0%（男性6.4%、女性8.0%）もいて、いずれも男女の20代、30代で多い。

(複數回答) (北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」、2011)

	性別別 属性別	児童の相 対的比率 (性差)	平均年齢 と標準差 (性差)	いづれも その 中から 1人選 出する 場合の 確率	パート タイム 労働者 の割合 (性差)	職業や仕 事内容 の相違 (性差)	職業関 連の関 心度 (性差)	比較 的 的 に 高 い 関 心 度 を 有 す る 関 心 の 内 容 (性差)	職業関 連の関 心度 (性差)	職業に 関する 知識 (性差)	将来は 自由 に選 ぶ 可 能 な 職 業 に 関 心 を 有 す る 可 能 な 職 業 (性差)	セック ス(性 差)	その他 の関 心 の 内 容
全体	6,654,563	0.5	33.3	11.1	19.7	1.5	0.7	7.4	0.6	16.7	17.0	8.0	0.7
男性	3,894,664	0.8	30.3	13.1	19.2	1.6	0.9	5.4	0.6	16.7	16.8	7.4	0.7
10代	111,261	0.9	7.2	9.8	5.4	2.7	0.8	5.4	3.6	0.5	0.9	7.4	0.8
20代	212,500	1.9	13.7	12.3	10.8	2.8	14.1	10.3	0.9	2.8	10.8	38.7	2.4
30代	617,721	1.0	24.3	14.0	12.7	2.7	16.9	10.4	1.2	2.4	16.6	11.3	0.5
40代	1,276,699	0.9	32.1	12.6	16.8	2.0	0.8	7.5	1.4	1.6	10.6	11.3	0.5
50代	1,017,582	0.5	34.4	13.7	20.7	0.8	0.7	4.5	0.6	1.4	20.5	14.5	0.5
60代	553,624	0.5	36.2	13.0	25.0	0.4	0.4	1.3	0.8	0.0	0.7	28.9	13.0
女性	2,760,632	0.7	38.1	9.2	22.8	1.3	0.5	8.0	0.2	0.7	20.1	15.5	0.6
10代	141,227	0.7	7.1	8.9	3.5	4.3	2.1	9.2	9.0	0.0	2.8	9.1	71.6
20代	299,576	1.0	30.3	15.9	21.7	3.4	0.7	18.8	17.3	1.4	2.7	9.5	27.9
30代	567,704	0.9	40.4	15.5	23.3	1.3	0.4	10.6	11.3	0.8	3.3	13.3	4.7
40代	1,016,668	0.7	40.1	8.9	26.3	1.3	0.6	6.1	4.6	0.7	2.1	16.2	4.6
50代	141,618	0.2	48.9	6.3	28.6	0.2	0.2	3.1	4.6	0.5	2.5	16.2	0.7
60代	225,551	0.0	46.0	6.2	21.8	0.0	0.0	0.9	1.3	0.0	0.4	25.9	0.4

1) 今後、性感染症の検査を受けてみたいか

「今後、性感染症の検査を受けてみたいか」を尋ねると、75.5%（男性75.4%、女性75.6%）が「受けようと思わない」と回答している。「最近（1ヶ月以内）に受けた」は0.4%（男性0.3%、女性0.4%）にとどまっている。24.2%（男性24.3%、女性23.9%）が「受けようと思う（1ヶ月以内に受けようと思う＋いずれ受けようと思う）」と回答しているが、検査に対する積極性は若年齢ほど高い。

(北村邦夫：「日本人の性意識・性行動調査」，2011)

	合計	最近(1ヶ月以内)に受けた	1ヶ月以内に受けてみようと思う	いずれ受けてみようと思う	受けてみようと思わない
全体	8,700	0.4	0.7	23.5	75.5
男性	5,002	0.3	0.7	23.6	75.4
10代	120	0.8	4.2	29.2	65.8
20代	251	0.8	1.6	34.7	62.9
30代	828	0.4	0.7	30.9	68.0
40代	1,635	0.2	0.9	27.4	71.5
50代	1,402	0.2	0.5	18.9	80.4
60代	766	0.3	0.0	11.7	88.0
女性	3,698	0.4	0.6	23.3	75.6
10代	152	0.0	1.3	36.8	61.8
20代	413	1.0	0.7	44.1	54.2
30代	1,130	0.5	1.2	32.5	65.8
40代	1,217	0.4	0.2	17.9	81.4
50代	506	0.2	0.6	6.3	92.9
60代	280	0.0	0.0	2.9	97.1

「エイズ（HIV）を含む性感染症について、正しいと思われるもの」を複数回答で聞いた。国が発表する感染症発生動向調査のうち性感染症報告数（定点報告）は、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症などはここ数年減少あるいは横ばい傾向あ